

# ほたるの里だより



八千代市ほたるの里づくり実行委員会  
第28号 2010年1月

## 変身中です！

### ほたるの里の湿地を 田んぼに！！

桑波田 和子

現在のほたるの里には、ヘイケボタルが生息しています。

以前は、ゲンジボタルは水路で、ヘイケボタルは湿地に生息していました。

数年前から、ゲンジボタルは八千代市内には生息していないことから、ヘイケボタルのみ育て、放流しています。(中には自生しているものもあるかも?)

ヘイケボタルの幼虫を預かった里親が、4月頃まで育てた幼虫を、里へ放流しています。

また、ホタルメイトでは、ホタルが自然に生息できる環境づくりを目指して、里の整備活動や先進地の視察などをしてきました。しかし、実際ホタルがたくさん飛ぶ状況は難しいです。

夏、里へ訪れる人々に、ホタルがたくさん飛んでいる「ほたるの里」にしたいと、役員会で話し合いました。結論は、湿地を田んぼにしてホタルの環境づくりを試してみてもどうかということになりました。

8月31日の暑い日でしたが、まず湿地のアシを刈り取り、水をトンボ池の方へ流し、水抜きしました。すると…多数のザリガニが姿を現し、バケツ一杯取れました。さらに、ウシガエルも5匹以上捕まりました。

湿地の中では、アミとバケツを持って泥んこになりながら、生き物ゲットの場となり、にぎやかな声が響きました。その後、数日かけて湿地の水が抜けたところで、アシを抜く作業です。この作業がなかなか大変でした。というのは、アシの根が厚く張り、スコップが入っていきません。↑

また、底の方には石があるため、スコップがあたり、石を取り除くのが大変で、なかなか作業が進みません。その後も集まれる人でアシ抜き作業を行いました、11月までに完了することができませんでした。

しかも、この湿地にはニホンアカガエルが1月下旬か2月早々には、卵を産みに来ます。

そこで、アシ抜き作業を中断して、水を張りました。

10年近くアシを生えさせてしまったので、一気に抜くのはかなり無理があること、また、急に環境を変えることは、生き物にとって負担になる。また、作業するメンバーが固定化していて、負担が多くなっていること。このような状況から、アシが生えるたびに刈り取ることで、アシの根に養分を送りにくくなり、生育を弱めることができると話し合いました。

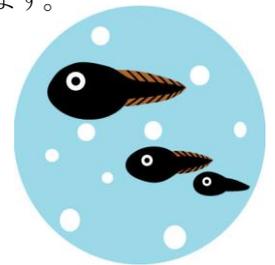
湿地は、このように田んぼに変身する作業をしています。今まで生き物が棲んでいた環境に変化があり、生き物にとって、変化が出てくるかもしれません。

今頃は、湿地には水が張られ、寒い日には薄氷が張り、ニホンアカガエルが卵を産みに来るのを待っています。春になり、水が温み始めたら、田んぼ計画を進めます。

ホタルが飛び交い、人々の心にやさしさのメッセージを送ることが夢です。

この活動に賛同の方は、ご協力をお待ちしていますので、環境保全課へお知らせください。

ちなみに、3月6日午前10時から里の作業があります。



人もホタルも輝く街へ！！ 私たちはほたるの里を応援しています！

- |           |                |               |             |
|-----------|----------------|---------------|-------------|
| 石井食品株式会社  | ガールスカウト千葉県第57団 | クボタ環境サービス株式会社 |             |
| 子どもネット八千代 | 斉藤鑿泉管工         | 八千代オイコス       | 八千代ホタルフォーラム |
| 米本団地自治会   |                |               |             |



## ほたるの里学習会に参加して

白井市在住 坂巻 真有美

白井市より‘ほたるの里学習会’に参加させていただきました。16号を通るたびに、新川のまわりに広がる八千代市ののどかな田園風景をよく見ていました。

八千代緑が丘駅近くの石神谷津での学習会に少しわくわくしながら参加しました。

寺台公会堂は旧村落の中にある小さな集会所で、今回は親子連れや地元の環境保護に関わる方など市内のカエル好きが集まる学習会でした。



白井市も八千代市と地続きの北総台地のひとつですが、この石神谷津に足を踏み入れ、奥深くまで細長く続く谷津の地形には驚きました。寺台公民館での庭野先生のカエルの話はとてもわかりやすく、たくさんスライドは見ていて飽きないものばかりでした。

日ごろ近くの自然散策をすることがありますが、なかなか本で見たとおりにカエルは理解できません。アマガエル・シュレーゲルアオガエル・アズマヒキガエル・ニホンアカガエル・ヤマアカガエル・トウキョウダルマガエル・ウシガエルそれぞれのカエルの特徴を、わかりやすく説明してくださり、いままでの聞きかじりの知識をきちんと整理できて、とても理解しやすい内容でした。

近所にいないカエルにはなじみも少なく、特徴などいわれてもよくわからなかったのですが、‘アズマヒキガエルはハンサムなニホンのヒキガエルという意味があるんです。’ ‘シュレーゲルアオガエルの鳴き声は『もののけひめ』に出てくる『こだま』の音に似てますね ‘など「へ〜。」「ほんとだ！」など感心しながら楽しく覚えられました。

カエルの特徴として①草や葉にはりついて 7

暮らすカエルの指先には吸盤がついている（アマガエルなど）②水の中で暮らすカエルはみずかきがある（ウシガエルなど）③ほとんど草地や林で暮らすカエルの指先はすらっとして吸盤がない（ニホンアカガエルなど）…カエルたちを整理してみるとこんな風の特徴をとらえ分けることができることもわかりました。

この学習会では話を聞いた後、実際に谷津に出て、見たり・考えたりする学習も行われました。公会堂から谷津へ出ると、一部に家が見えるものの田の両側には緑の木々がみえます。参加者全員田んぼのわき道を歩きながら『アカガエルの気持ちになって考えてみよう』と、庭野先生の声かけで、考えながら歩く学習が続きます。



どんなところに住んでいるんだろう？ エサはどこにあるかな？ 卵はどこに産もうか？ 谷津のそばを歩きながら子供たちも私たちも一生懸命考えました。竹林の落葉をふみしめてみたり、稲が刈り取られ雨水のたまった田んぼをのぞいてみたり、先生からの問いかけをひとつひとつ考えながら歩いていると、石神谷津はアカガエルが住める可能性を持つ場所のひとつであることがみえてきました。

また生き物が多く住む『里山』という場所を考えたとき、この『アカガエル』は自然の健全さを測るめやすくなる生き物であり、アカガエルが生息する場所には、水・森林・草地が存在し、それはその場所の自然度の高さを示すものであることがわかりました。

今回の学習会では『アカガエル』という生き物が存在することの意味や、そこからみえてくるものがたくさんあることを学びました。16号から遠いひっそりしたこの石神谷津で、来年の春、アカガエルに会えることを期待して学習会を終えました。



ぼくは ニホンアカガエル ♪  
 ぼく このごろ こまっているんだ ♪  
 ぼくの生まれた 水のある田んぼや ♪  
 ぼくのくらしている 野原や森がすくなくなつて ♪  
 ぼくのなかまが ずいぶんへつた  
 ぼくらの キュッキュッキュッと なく声を  
 このごろ きいたことがある？  
 ぼくらがへると こまる生き物が いっぱい いるんだよ  
 いろんな 生き物が いっぱいいる 地球にしたい ♪



☆かわいいバッジをつくりました☆

平成21年度生物多様性モデル事業で、ニホンアカガエルやヘイケボタルの保全の啓発のために、3つのバッジを作成しました。



## 八千代市民活動サポートセンター祭の報告

管理部 赤間 洋明

平成21年11月23日(祝)、第6回やちよ市民活動サポートセンター祭り(サポセン祭り)がイオン八千代緑が丘ショッピングセンターで開催されました。サポセン祭りには16の市民活動団体が参加し、ほたるの里づくり実行委員会も参加しました。

私たちほたるの里づくりのブースには里の紹介、里の生き物、ホタルの発光の仕組み、生きたホタルの幼虫などを展示しました。また、スタンプラリーのチェックポイントの一つにもなりましたので、スタンプをもらいにブースに立ち寄ってくれた人にはアンケートをお願いして実際にホタルを見たことの有無、ほたるの里に行ったことの有無を調査しました。その結果は次の通りです。



ホタルを見たことの「ある」、「なし」の比率は一昨年とあまり変わりませんが、ほたるの里へ行ったことの「ある」、「なし」では「ある」の比率が18%ほど高くなりました。ほたるの里に対する関心が高くなったのでしょうか。

ブースに立ち寄る人たちの多くはスタンプラリーカードにスタンプを押してもらうことが目的で、ブースの展示物や私たちの活動にはあまり関心が向かないようでした。

ブースに立ち寄った人たちにもっと関心を持ってもらうためには、展示の内容に加えてもう少し遊び、楽しみながらほたるの里づくりの活動を知ってもらう工夫が必要と感じました。

| 回答数  | ホタルを見たこと |     | ほたるの里へ行ったこと |     |
|------|----------|-----|-------------|-----|
|      | ある       | ない  | ある          | ない  |
| 159人 | 97人      | 62人 | 77人         | 82人 |
|      | 61%      | 39% | 48%         | 52% |

回答をいただいた人の総数は159名で昨年、一昨年と比べると少なめでした。↑

## 1・2・3月のスケジュール

### ◇ 里の環境整備 ◇

ほたるの里では里内の草刈りやザリガニ釣り大会などの環境整備を実施しています。次回3月は里内及び周辺のゴミ拾いと湿地の整備を予定しております。

日時： 3月 6日（土）

午前10時から12時ごろ

集合場所：ほたるの里

注意：各自で軍手・長靴・汚れてもよい服装・飲み物等のご用意をお願いします。

※雨天中止の場合はほたるの里の掲示版に中止の旨を掲示します。また、市役所（Tel 047-483-1151）に電話をしていただければ、中止の旨を9時からお知らせできます。

## 平成21年度生物多様性モデル事業報告

千葉県環境生活部自然保護課が5月に募集した、「平成21年度生物多様性モデル事業補助金」に、ほたるの里づくり実行委員会が応募し、受託しました。

補助の対象となる事業は、「生物多様性の保全・再生、持続可能な利用等に関して先導的で、かつ他の同様のNPO活動の参考となる事業」となっており、当会は八千代市内のニホンアカガエルの保全事業を行いました。

具体的には、ニホンアカガエルやヘイケボタルが生息しやすい環境をつくるために必要な道具を揃え、広く市民に啓発するために、ほたるの里のリーフレットや缶バッジ等を作成しました。

この事業は1月31日に終了します。今後も、ニホンアカガエルやヘイケボタルの保全育成のための活動や調査、環境整備を継続していきます。

ご協力よろしくをお願いします。



#### 【ほたるの里の連絡先】

〒276-8501 八千代市大和田新田 312-5

八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局 八千代市役所環境保全課 内

Tel 047-483-1151 Fax 047-484-8824 E-mail kankyoul@city.yachiyo.chiba.jp

#### 【編集】

広報部会 事務局

## 第13回総会のお知らせ

ほたるの里づくり実行委員会の総会を以下のように行います。

平成21年度の活動及び会計報告、22年度の活動予定について話し合います。

日時：4月10日（土）10：00

～12：00

場所：八千代市郷土博物館学習室

※ホテルメイトには、ほたるの里の素敵なりーフレット、冊子、缶バッジをお渡しします。

### ホテルメイトになりませんか？

年会費 個人 500円

市民団体 2,000円

事業所 2,000円

ホテルメイトで会費未納の方は、市環境保全課窓口、イベントまたは里整備時で受け付けている他、お近くの郵便局でも郵便振替で納入していただくことができます。

### 郵便局でお振込の場合

振替手数料 ATM：80円

窓口：120円

払込先：八千代市ほたるの里づくり

実行委員会

口座番号：00150-7-670156

## やちよ里山シンポジウム2010を開催します

日時：3月6日（土）13：30

～16：00

場所：緑が丘公民館集会ホール（5階）

内容：基調講演 東邦大学教授 長谷川雅美氏、NPO法人こびすくらの船橋での活動紹介、八千代市の谷津・里山の紹介など

※参加希望の方は2月26日（金）までに、環境保全課へ電話でお申し込みください。